

建設機械向けレコーダーを活用したテレマティクスサービス(Ci-REC) 国土交通省の新技术情報提供システム「NETIS」に登録

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 城田 宏明、以下「当社」)は、当社が提供する建設機械向けテレマティクスサービス(シーレック/Ci-REC)^(※1)が、国土交通省の新技术情報提供システム「NETIS」へ登録されたことをお知らせいたします。

当社は、本サービスの提供を通じて建設業界における ICT の活用を支援し、更なる建設現場の安全性や生産性の向上に貢献してまいります。

1. Ci-REC 開発の背景

建設業界では、技能労働者の減少・高齢化やインフラの老朽化に伴う公共工事の増加等を背景に、生産性の向上が喫緊の課題となっています。こうした状況下、国土交通省が建設現場の生産性向上を目的とした i-Construction 構想^(※2)を推進するなど、デジタル・テクノロジーを活用した ICT 施工が近年注目されています。一方で、ICT 建機等の導入・維持には高額なコスト負担が生じるケースも多く、建設事業者にとって ICT 施工を導入する際の大きな障壁となっています。

そのような中、当社は建設現場の生産性や安全性の向上に貢献するために、保険業界初となる建設機械向けレコーダーを活用したテレマティクスサービス(Ci-REC)を 2022 年 4 月より提供して参りました。建設機械に生じた物的損傷等を補償する動産総合保険に特約を付帯(月額 5,000 円)したお客様に対して、カメラ搭載端末を貸与し、株式会社 EARTHBRAIN の建設業界向け IoT プラットフォームを活用する形で、建設機械向けのテレマティクスサービスをお客様にご利用いただけるものです。

(※1)2022年4月5日ニュースリリース:

【業界初】建設機械向けレコーダーを活用したテレマティクスサービス提供開始

https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/release/pdf/220405_01.pdf

(※2)i-Construction 構想

平成 28 年の政府の未来投資会議において、「ICT の全面的な活用」等の施策を建設現場に導入することで建設生産システム全体の生産性向上を図り、2025 年までに建設現場の生産性を 2 割向上する方針が示されたものです。

2. Ci-REC の「NETIS」への登録と今後について

当社は、i-Construction 構想の実現に向けた、建設現場における ICT 推進をより一層支援するため、今般、Ci-REC を国土交通省の新技术情報提供システム「NETIS」^(※3)へ登録いたしました。

「NETIS」への登録の結果、Ci-REC 付き建設機械を利用している施工者は、公共工事の工事成績評定や入札契約の総合評価方式において、最大 3 点の加点対象となります。

当社は、今後も保険・サービス等の提供を通じて、建設業界における課題解決に寄与できるよう、取り組んでまいります。

(※3)NETIS

新技术情報提供システム「New Technology Information System」の略で、経済性、工程、品質、安全性、施工性、周辺環境への影響の観点で、従来技術に対して優位性のある新技术にかかる情報の共有・提供を目的として、国土交通省が運用しているデータベースです。

● **登録内容**

技術名:建設機械向けテレマティクス端末「Ci-REC(シーレック)」

登録年月:2024年5月

登録番号:KT-240027

URL: <https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-240027%20>

Powered by **dRIVEN**

「dRIVEN」はデータ・テクノロジーの活用を通じて新たな価値をご提供し、様々なリスクからお客様・地域社会をお守りする保険商品シリーズです。

※ 2021年11月25日 データドリブン商品「dRIVEN」シリーズの展開

https://www.tokiomarinehd.com/release_topics/release/16guv3000000dnu9-att/20211125_dRIVEN_j.pdf

以上